

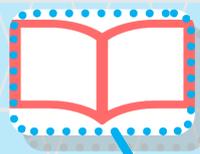
10代のための本棚

ていへんず情報誌Vol.28

墨田区立図書館

2019年7月発行

<http://www.library.sumida.tokyo.jp/teensindex>



この夏、
調べる学習に
チャレンジしてみよう！

夏休みに、自由研究課題や「図書館を使った調べる学習コンクール」に取り組むティーンズも多いのではないのでしょうか。

そのチャレンジは、情報処理能力・思考力・言語能力・コミュニケーション能力・発信力などのさまざまな力をぐんと伸ばすチャンス。選んだテーマについての調査探求を進め、そこで得た考えや気づきをレポートにまとめあげた時、1ランク成長した自分を感じることと思います。

墨田区立図書館はそんなみなさんのチャレンジを応援しています。

下に紹介した、自由研究課題や調べ学習のやり方・ルール・コツなどについて教えてくれる本のほかにも、事典やテーマ別のたくさん本がありますのでぜひ来てみて下さいね。こんなことを調べたいのですが、参考になる本はありますかという質問も大歓迎です！

『調べてみよう、書いてみよう』

最相葉月/著 講談社

『図書館で調べる』

高田高史/著 筑摩書房

『学びの技』

—14歳からの探求・論文・プレゼンテーション—

後藤芳文・伊藤史織・登本洋子/著

玉川大学出版部

『中学生・高校生のための』

探究学習スキルワーク』

桑田てるみ/編 全国学校図書館協議会

『伝え方教室一調べる・発表する—』

大重史朗/著 旬報社

『発信力の育てかた』

外岡秀俊/著 河出書房新社

今年もやります！

中高生のためのPOPコンテスト2019

対象：区内在住または在学の中学生・高校生
応募期限：2019年9月13日(金) ※必着

★応募方法★

区内の中学校、図書館、コミュニティ会館図書室にある「POPコンテスト応募箱」、または、郵送でひきふね図書館(〒131-0046墨田区京島1-36-5)へ

★お願い・注意事項★

- ・応募は一人1点です。指定の用紙を必ず使用してください。
- ・筆記具は自由ですが、こすると消えるペンは使用できません。
- ・本のタイトル・作者名・出版社名は必ず書いてください。
- ・紹介する本は、雑誌とコミックは除きます。
- ・POP面への署名(ペンネームを含む)は自由ですが、図書館・コミュニティ会館図書室等で展示等の活用をする場合があります。
- ・応募作品の著作権・所有権は、主催者に帰属し、作品は理由を問わず返却しません。
- ・POP用紙の裏面に、氏名(ふりがな)・住所・電話番号・学校名・学年を必ず記入してください。
- ・入賞作品は、氏名・学校名・学年を添えて発表します。
- ・個人情報、この事業以外には使用しません。

主催：墨田区立図書館

ひきふね図書館おもてなし課

おもてなし課は、図書館をより楽しい場所にするための企画を考え活動する、中高生のボランティアです。5月19日に今年度最初の活動を行いました。

★自己紹介とオススメ本の紹介

自己紹介を兼ねて、メンバーにオススメの本を紹介してもらいました。『図書館戦争』(有川浩・著/KADOKAWA)、『きみの友だち』(重松清・著/新潮社)、『面白くて眠れなくなる生物学』(長谷川英祐・著/PHP研究所)などがあがりました。



★カードゲームで遊ぶ



「図書館でゲーム」と聞くとちょっと意外に思うかもしれませんが、最近、イベントでゲームを行ったり、ゲームを収集・所蔵している図書館が増えています。今回は、おもてなし課のメンバーで、カードゲーム『犯人は踊る』をやってみました。ミステリー小説のようなゲームで、みんなで推理しながら盛り上がりました。

図書館とゲームについて詳しく知りたい人は…
『図書館とゲーム—イベントから収集へ—』
(井上奈智ほか著/日本図書館協会)

メンバー募集中！

今後の予定

次回の活動は、7月21日(日)午前10時からです。「点字を知ろう」をテーマに点字の体験と点字用紙を使った工作会を行う予定です。その日だけの参加も可能ですので、友達を誘って遊びに来てください！





イラストで読むAI入門

森川幸人/著 筑摩書房 2019年
電子レンジが調理法を教えてくれたり、体重計が健康を管理してくれたり、私たちの生活はAIの発展により暮らしやすくなってきています。この本ではAIとは何か？これからどんなふうに生活が変わっていくか？などをイラストを交え、わかりやすく教えてくれます。



キャリア教育に役立つ！官公庁の仕事

稲継裕昭/監修 あかね書房 2018年
財務省や宮内庁。官公庁の名前はよく聞けるけれど、具体的にどんな仕事をしているの？この本では、各省庁で働く国家公務員が、仕事内容の紹介や、そこで働くために何をすべきかアドバイスしてくれます。将来国家公務員を目指している人、行政について知りたい人にお薦めです。



国籍の？がわかる本—日本人ってだれのこと？外国人ってだれのこと？—

木下理仁/著 太郎次郎社エディタス 2019年
「国籍」ってなんだろう？知っているようでよ〜く考えるとなんだか？？？がいっぱい。そんな？？？だらけの「国籍」の曖昧だったあんなこと、こんなこと、この本ですっきり解決させましょう。



もっと知りたい葛飾北斎—生涯と作品—改訂版

永田生慈/監修 東京美術 2019年
葛飾北斎は、1760年に下総国本所割下水（現在の墨田区亀沢）で生まれ、その生涯のほとんどを墨田区内ですごしました。この本は、北斎の作品を年代順に紹介しており、その生涯と作風の変化がよく分かる1冊です。富士山だけでなく北斎の魅力に触れてみましょう。



世界の端から、歩き出す

富良野馨/著 ポプラ社 2018年
京都に就職が決まった千春は存在も聞かされたことのない叔父のシンと出逢う。長年の生活で屈折した想いを抱いていた千春と武骨なシンが、変わっていく生活の中で見つけるそれぞれの大切なもの。そんな2人の不器用ながらも一生懸命な姿に心を打たれる一冊です。



君と眺む場所

三河みり/著 新潮社 2019年
舞台は尾道。中学3年の主人公有希と本を愛し本に埋もれて暮らす七曲との日常に、不登校ぎみの麻友が加わり問題を解決していく。その問題とは。そして、最後にこの題名の意味がわかるかも。



徒然草(すらすら読める日本の古典<原文付き>)

兼好法師/作 長尾剛/文 若菜等/絵 Ki/絵 汐文社 2018年
タイトルの「つれづれ」とは「何もする事がなく暇な様子」という意味。700年近く前に書かれた随筆が、読みやすい文章とイラスト付きで蘇りました。古典の勉強にも役立ちますよ。



ムーミン谷のすべて

フィリップ・アーダー/文 徳間書店 2018年
様々なキャラクター、音楽や魔法、生きもの、陰の部分などが原作の絵とともに紹介されています。作者トーベ・ヤンソンの生涯や、ムーミン屋敷の間取りまで書かれています。ムーミン好きな人も新発見がありそうな、タイトルの通り「ムーミン谷のすべて」が詰まっている本です。

平成30年の間にテレビゲームは様々な進化をしました。ゲームの歴史を本でふりかえってみよう！

どれをよむ？

▶「ゲームの教科書」

馬場保仁/著 山本貴光/著 筑摩書房

「ファミコンとその時代—テレビゲームの誕生」

上村雅之ほか/著 NTT出版

「ゲームクリエイターの仕事」

蛭田健司/著 翔泳社

「日本を変えた10大ゲーム機」

多根清史/著 ソフトバンククリエイティブ

「アニソン・ゲーム音楽作り20年の軌跡」

上松範康/著 主婦の友社



『悪い本』
作/宮部みゆき
絵/吉田尚令
編/東雅夫

『いるのいないの』
作/京極夏彦
絵/町田尚子
編/東雅夫



『はこ』
作/小野不由美
絵/nakaban
編/東雅夫

文章が少ないからこそその怖さがある
岩崎書店 怪談えほんシリーズ



ほかにも恐怖は
いろいろ
作/恩田陸 芦沢央 ほか 新潮社
『だから見るなどいったのに』

『放課後の怪談1
暗闇から
のびる手』
編/日本児童文学者協会
偕成社

